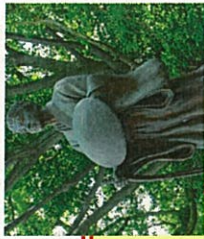


若狭路の文化人たち



松尾芭蕉 (1644~1694)

はいかいし
俳諧師

紀行文「おくのほそ道」を著した
1689年に敦賀を訪れ「月清し遊行の
もてる砂の上」等の句を読んでいる

山川登美子 (1879~1909)

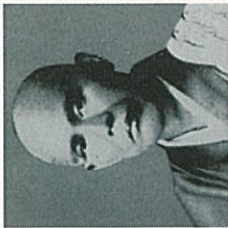
歌人(小浜市出身)
与謝野晶子らと共著「恋衣」を刊行



釈宗演 (1860~1919)

禅僧(高浜町出身)

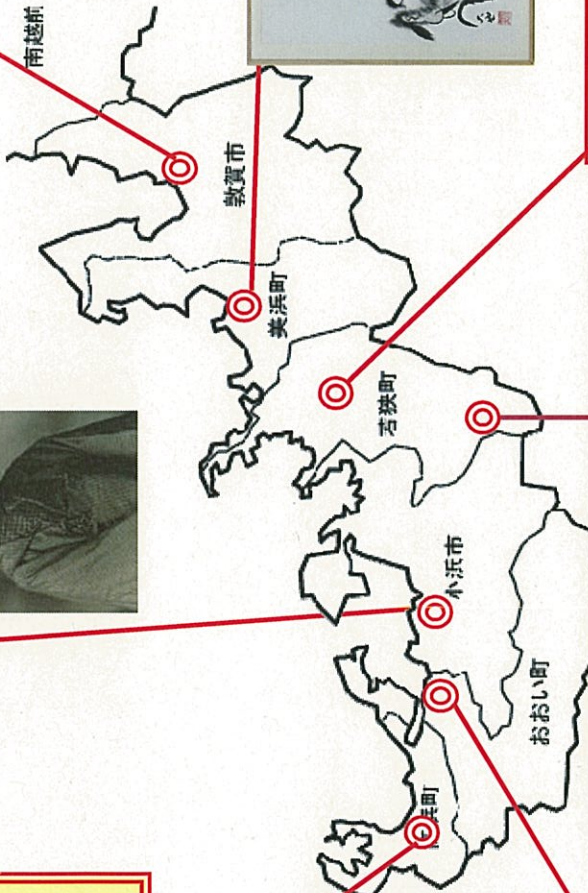
日本人の僧として初めて「禅」を
「ZEN」として欧米に伝えた
留学時代の日常を著した「西遊
日記」などの著書がある



みずかみつとむ

水上勉 (1919~2004)

小説家(おおい町出身)
1961年に直木賞受賞
「雁の寺」「越前竹人形」などの著
書あり



五木ひろし (1948~)

歌手・作曲家(美浜町出身)
しじゅほうしょう
2007年、紫綬褒章を受章



だいうんどうじん

大雲道人 (1948~)

禅僧・画家
美浜町陽光山徳賞寺住職
フランスの世界公募展で4年
連続入賞



佐久間勉 (1879~1910)

海軍大尉(若狭町出身)
旧日本海軍第6潜水艇で潜航訓
練中に殉職したが、その際の冷静
沈着な行動が賞賛されている



ほそかわゆうざい

細川幽齋 (1534~1610)

戦国大名・歌人
熊川宿で連歌の会を開き「神無月
雪を都のしぐれかな」の句を残す
ぬまたじやこう
正室の沼田麴香は熊川城主の娘
「古今若衆序」などの著書あり



松尾芭蕉ゆかりの地と周辺観光地

色ヶ浜・本隆寺

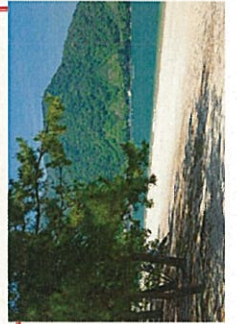
敦賀湾に面したこの浜は水も美しいと評判で、砂の小島2つからなる水鳥を眺めることができます。

松尾芭蕉は船を仕立て色ヶ浜に渡り、この地でいくつかの句を詠んでおり芭蕉が休息した本隆寺には芭蕉の記文及び句碑が残されています。句碑には、「小萩ちれますほの小貝小盃」衣着て小貝拾わんいろの月」と刻まれています。



氣比の松原

長さ約1.5km・広さ約40万㎡という広大さと、白砂青松のコントラストが印象的な松原。赤松、黒松約17,000本が生い茂る国の名勝地です。三保の松原(静岡県)・虹の松原(佐賀県)と並ぶ日本三大松原の一つです。芭蕉は、翌8月15日にはこの氣比の松原での月見を楽しみにしていました。しかし宿の主人の言ったとおり、あいにくの雨となり「名月や北國日和定めなき」と詠みまし



かねがきょうせき こんぜんじ 金ヶ崎城跡・金前寺

南北朝時代、足利軍との戦いに敗れた新田義貞は陣鐘を海に沈めた。のちに国守が海底の泥に埋まって引き上げることが出来なかった。芭蕉は、宿の主人からこの話を聞いて「月いつこ鐘は沈るうみのそこ」と詠んだとのこと。現在この句は金前寺の境内に立つ句碑・鐘塚に刻まれています。

敦賀赤レンガ倉庫

「明治後期～昭和初期敦賀の街並みを再現した鉄道と港のジオラマ」、「敦賀ならではの魅力と兼ね備えたレストラン」を備え、港の風と緑を感じながら、ゆったりとした時間を楽しむことができます。



人道の港 敦賀ムゼウム

1920年にシベリアで救出されたポーランド孤児、1940年にはナチスドイツの手から逃れたユダヤ人難民が、リトニア・カウナスの領事代理杉原千蔵が発給した“命のビザ”を握りしめ、敦賀港に上陸したことに関連して展示を行っています。

氣比神宮

氣比神宮は、大宝2(702)年の建立と伝えられています。7柱のご祭神をまつる北陸道の総鎮守。明治に官幣大社となりました。高さ約11mの大鳥居(重要文化財)は春日大社(奈良県)・厳島神社(広島県)と並ぶ日本三大木造大鳥居の一つ。元禄2年旧暦8月14日の夜に松尾芭蕉が氣比神宮に参拝し、月明かりに照らされた神前の白砂とその云われに感動し「月清し遊行のもてる砂の上」と詠みました。境内には松尾芭蕉の像と句碑があります。



敦賀市

かぐらちよう 神楽町商店街

敦賀名物豆らくがん、水ようかん、酒まんじゅうなどのスイーツ店が並ぶ

Straberry candle KOBORI

御菓子司 森本

天清酒万寿店

御菓子処 あさみ

浅海分店

奥井海生堂

増井弘海堂 など



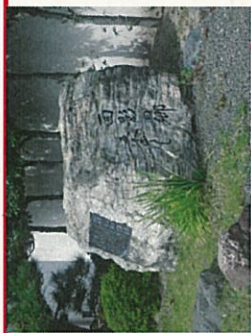
五木ひろし・大雲道人ゆかりの地と周辺観光地



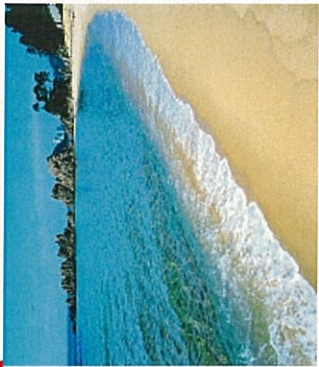
三方五湖ジェットクルーズ

五湖の入り口、久々子湖畔にあるレークセンターには、遊覧船発着場があり、ここからジェット船で行く五湖めぐりが楽しめます。数々の名所が続く五湖巡りの中でも特に絶景として知られるのが、陰しい断崖が左右に迫る浦見川。遊覧船は、日向湖を除く4つの湖を巡ります。

「面影の郷」歌碑
美浜町の玄関口であるJR美浜駅の前に「面影の郷」の歌詞を記した歌碑があります。美浜駅には若狭美浜観光協会があり、若狭路の観光案内を行っています。

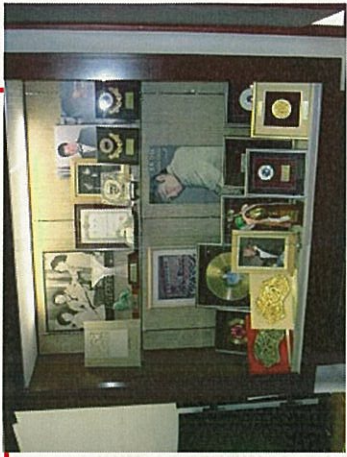


美浜・五木ひろしマラソン
毎年5月に開催されています。日本の水浴場88選に選ばれた水晶浜の海岸線コース！ロケーションは抜群です。
3km、5km、10km、20kmのコースがあります。



千鳥苑・五木茶屋

五木ひろしがふるさとへの思いを寄せて立案した五木茶屋。こちらでは五木さんのデビューから今までの曲がずらりと並んでいて、五木さん自身もそして、プロダクションも持っていない「ここだけにしかない曲」も展示しております。



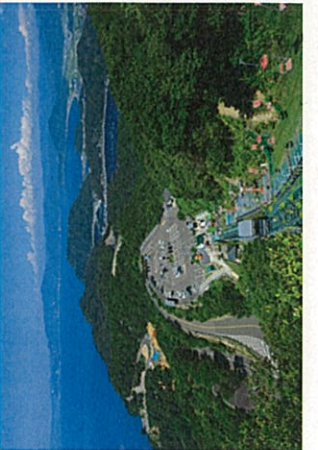
徳賞寺

1563年に開山された曹洞宗の寺。住職の大雲道人(本名:栗谷正光)はフランスの世界公募展に4年連続で入選するなど水墨画の画家として活躍。寺で絵を観たり住職から話を聞くことができます。



レインボーライン

レインボーラインは、海と山、そして5つの湖が織り成す自然美をたっぷりと堪能していただける有料道路です。山頂には「ばら園」や神祕の「誓いの鍵」、お願いごとが叶うという「天狗のかわけ投げ」、当地出身の五木ひろし氏にちなんだ「五木の園」などがあります。「五木の園」の石碑のレコードにふれると、彼の思いのこもった「ふるさと」のうた「ふ」が流れます。



若狭国吉城歴史資料館

若狭国吉城歴史資料館は、戦国時代の山城で、越前朝倉氏を撃退し、織田、豊臣、徳川の三英傑を迎えた吉城址と、その城下町として開かれた佐柿の歴史を紹介する資料館です。資料館では、多くの歴史史料や写真、解説パネル、映像などで国吉城と佐柿の450年の歴史を紹介しています。



佐久間勉・細川幽斎ゆかりの地と周辺観光地

福井県海浜自然センター (若狭三方マリンパーク)

若狭湾や三方五湖の魚、カエルやエビなどの水生生物が見られるミニ水族館。直接魚にえさをあげたり、ヤドカリやヒトデ、ナマコなどの磯の生きものに触れることができる水槽もあります。体験講座は、海の生きものを観察するスノーケリングや磯観察が人気で、全25種類のメニューがあります。



三方石観世音

この地を巡っていた弘法大師が一夜で大きな花崗岩に観音像を彫り、その際夜明けを告げる鶏の声で右手首から先を彫り残したと伝えられます。手足の不自由な人にご利益があるとされ参拝者がたえません。北陸三十三ヶ所の特別霊場でもあります。



瓜割の滝

瓜割の滝は、あまりの水の冷たさに瓜が割れてしまったという伝説に由来しています。清らかな水の流れと木々の緑で夏でも涼しくマイナスイオンいっぱい癒しポイントです。環境庁「名水百選」選抜総選挙おおいしき部門で全国2位になりました。

美浜

道の駅 三方五湖

ラムサール条約に登録される三方五湖のほとりにある道の駅。館内には地元産の農産物や特産物がずらりと並び、並ぶ特産品販売所をはじめ、観光案内所や展示・会議室などを備えています。

若狭町



佐久間記念交流会館

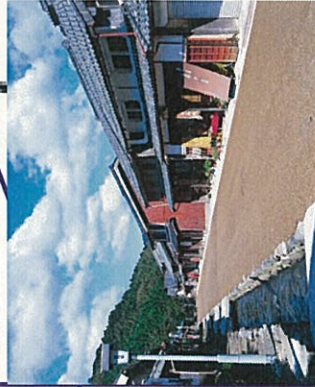
今も海軍軍人の規範となっている第六潜水艇長・佐久間勉。彼の思いをつづつた日記や遺品が展示されています。



熊川宿・沼田氏供養塔

若狭小浜から京への若狭街道、通称「鯖街道」の中継拠点として中世末より発展した熊川宿は、平成8年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。細川幽斎は熊川で連歌の会を催しており、「神無月雪をみやこのしぐれかな」などの句が『玄(げん)旨公御連哥(しこうれんが)』に収められています。

また、熊川宿の得法寺には、熊川城主沼田氏の供養塔と伝えられる石塔がまつられており、沼田光兼(みづかかね)の娘が細川幽斎の唯一の妻、麿香(じゃこう)です。



山川登美子ゆかりの地と周辺観光地

みけつくに

御食国若狭おばま食文化館

食にまつわる歴史・文化や伝承料理などを展示するミュージアム、郷土料理などを作り味わうキッチンスタジオ、若狭小浜の伝統工芸(若狭塗・若狭めのう細工・若狭和紙)を体験できる若狭工房、医食同源の観点から心身の疲れを癒す濱の湯から成る総合施設です。



山川登美子記念館
「恋衣」などで知られる小浜市出身の明治の歌人、山川登美子の生家が「山川登美子記念館」として開館しました。
記念館には生前登美子の身の回りにあった品々や歌稿など様々な品が展示されており、「登美子終焉の間」などで登美子の人生をより身近に感じていただけます。

小浜公園

小浜湾に面し、海望山の東麓に位置する公園です。青井川が公園内を流れ、小浜市出身で幕末の尊王攘夷派の志士、梅田雲浜の碑や明星派の女流歌人山川登美子の歌碑が立っています。展望台からは、小浜市内をはじめ、内外海・大島の両半島が見渡せます。



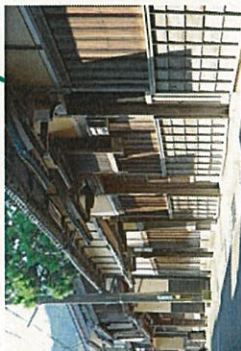
若



道の駅 若狭おばま
小浜市の玄関口として、観光やイベント等の様々な地域情報を発信しています。
地場産農林水産物や市内特産品を販売しています。

じんぐうし 神宮寺

毎年3月2日に行われる奈良の東大寺二月堂へのお水送りの神事で有名な寺院です。神体山を借景にした若狭随一の木造本堂が雄大な景観を見せています。力強い木造金剛力士像を安置した仁王門(北門)は本堂とともに重要文化財に指定されています。



さんちようまち

三丁町

小浜香取から小浜飛鳥にわたる茶屋街で、狹い路地に紅殻格子や出格子の家や料亭が軒を連ねる風情ある古い町並みです。小浜市は昔から京都とのつながりが深く今も生活のいたるところに京文化が根付いています。

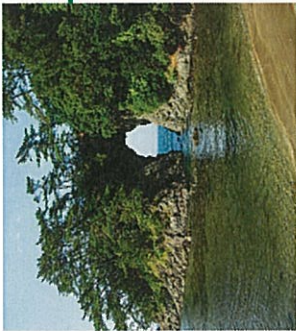


みよつうじ 明通寺

大同元年(806)に征夷大将軍の坂上田村麻呂公が蝦夷征伐の際に創建されたと伝えられ、正嘉2年(1258)に建立された本堂と文永7年(1270)に建立された高さ約22mの三重塔はいずれも国宝です。
木造降三世明王立像、木造深沙大將立像、木造不動明王立像は国の重要文化財となっており見どころの多い寺院です。



釈宗演ゆかりの地と周辺観光地



めいきょうどう
明鏡洞

「八穴の奇勝」と呼ばれる8つの自然洞穴のひとつで、洞穴の彼方に見える水平線が鏡のようなところから名付けられました。城山公園には蛭子ヶ洞、鼓ヶ洞、猩々ヶ洞、乙女ヶ洞、外ヶ洞、鉞み岩、揚ヶ小洞夜、明鏡洞と灯台がひとまわりできる遊歩道があり、30分程で散策できます。春から初夏にかけては洞穴の向こうに漁火が並び、より幻想的な景色が見られます。

若狭和田ビーチ

平成28年4月、ビーチの国際環境認証「ブルーフラッグ」をアジアで初めて取得。海岸に約1km続く美しい松林「青の松原」と若狭富士ともよばれる青葉山との雄大な景観も楽しめます。遠浅なので、小さなお子さまも安心して遊ぶことができます。ライフセーバーも常駐し放送設備や浜茶屋、ビーチバレーコート、トイレなどの設備も充実しています。



ハーバルビレッジ

高浜町青葉山のふもとに「自然と人がつながる場所」としてハーバルビレッジが2016年5月にオープン。園内のカフェでは地元の野菜やハーブ、杜仲茶を使った「ポケットパン」や「和のハーブティー」が楽しめます。土日祝日を中心に自然体験の講座も開催しています。

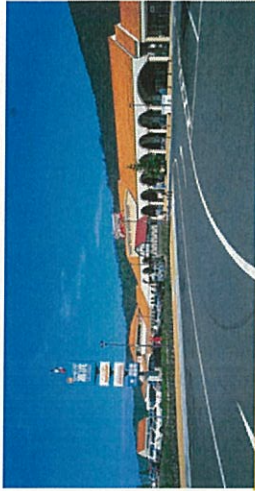


しゃくそうえんぜんせいじんひ
釈宗演禅師生誕之碑

釈宗演は32歳にして鎌倉五山の一つ円覚寺派管長に就任し、世界に「ZEN」を広めた偉大な宗教家としてその名を今に残しています。1856年に高浜町若宮で生まれ、幼名は一瀬常次郎、12歳で仏門に入りま

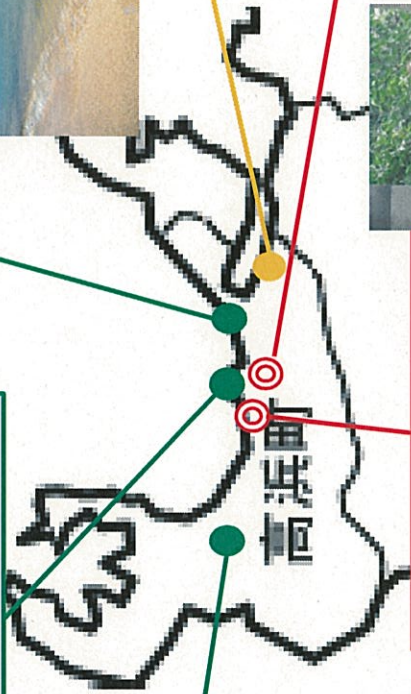
道の駅 シーサイド高浜

地中海の装いで統一された外観と農園ビュフェスタイルのレストランを中心としたオシャレな道の駅。露天風呂や松風呂、泡風呂などがある温浴施設「湯つぷる」やレストラン、お土産の買える物販棟、情報スペース、休憩施設など充実しています。



さきちじんじや
佐伎治神社

延喜式神名帳に名が記されている古社で、1800年以上も前に創建したと伝えられています。天正年間(1573~92)に高浜藩主・逸見昌経が中園部村から遷宮したとされ、素戔鳴尊(すさのおのみこと)・稲田姫命、大己貴命をまつています。佐伎治神社で行われる「高浜七ヶ年祭」は、県の無形民俗文化財に指定されています。鳥居の前に設置された佐伎治神社の石柱は釈宗演の書かれた文字を彫ったものです。



みずかみつとむ

水上勉ゆかりの地と周辺観光地



道の駅 うみんぴあ大飯
道の駅 うみんぴあ大飯はおおい町や若狭湾の産物、加工品等の物販と観光についての情報発信、屋食等のお立ち寄り施設で自然の景観も満喫できる海の見える「道の駅」です。

子ども家族館
ものづくりやクッキングが体験できる工房ゾーン、大型帆船での冒険やボールプールが楽しめるあそび探検ゾーン、乳幼児でも安心して遊びつるける交流ゾーン、子どもたちを家族館の世界へと導くエンターテインメントゾーンなど五感を使った様々な体験ができます。

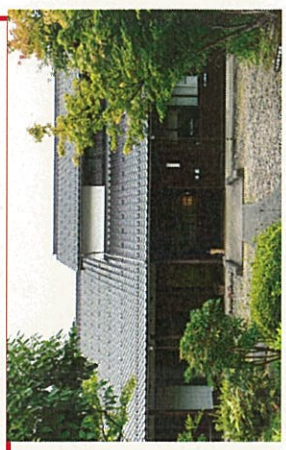
せいきょうこうくみんがっこう
青郷国民学校高野分校跡
昭和19年4月、水上勉は夫婦で東京から疎開してきました。「...ぼくは昭和十九年の四月から二十年の九月まで、福井県と京都府の境にある青葉山中腹の高野分教場につとめていた。昔でいう代用教員で、当時の役職名は助教といった。給料は、たしか、記憶にまちがいないければ、八円五十銭ぐらいだったかと思う。...」と記しています。

おおい町歴史館
平安時代の有名な陰陽博士安倍晴明の子孫、土御門家の人達が室町時代から江戸時代にかけて百二十年間程戦火を逃れ、おおい町名田庄に住み、都の朝廷や將軍家のことを占ったり、祈禱をしたり、曆を作ったりしていたことにちなんで建てられた施設です。他ではめつたに見られない昔の天文器具や曆など、また土御門家の史蹟や史料などを展示、保存しています。



じゃくゆういつてきぶんこ
若州一滴文庫
郷土の直木賞受賞作家、水上勉(おおい町出身)が主催する若州人形座の拠点として、宗教・美術・文学などの資料を展示する施設として建設しました。
広い日本庭園に風情のある日本家屋の建物は水上氏の蔵書2万冊を収めた図書室、水上氏に関する資料を収めた本館、竹人形文楽劇場など四季折々の風景とともに水上勉の世界を体感できます。竹紙漉き体験などのワークショップも定期的に行われています。
現在、おおい町の画家・渡辺淳さんが水上氏と訪れた中国で描いたスケッチ画などを紹介する企画展が開かれています。11月14日まで。

道の駅 名田庄
風と緑と星のふるさとおおい町名田庄の国道162号線沿いに位置する道の駅「名田庄」は周辺の環境・景観にマッチし、道路利用者の休憩施設として、また、歴史・文化・物産等の情報提供の場として活力ある地域づくりの役割を担っています。



「会いに行ける偉人—大雲道人—」について

○大雲道人について

世界的に有名な展覧会であるル・サロン（仏・パリ）の絵画部門で4年連続入賞した著名な水墨画家。本名は栗谷正光氏で美浜町にある陽光山徳賞寺住職である。

ル・サロン（仏・パリ）は、1667年、ルイ14世の提言により創設された世界最古の公募展で、過去にマネ、セザンヌ、ルノアールなどが入賞している。

◆大雲道人（栗谷正光氏）プロフィール

陽光山徳賞寺住職

三方郡美浜町佐柿 在住



- 1948 山口県山口市生まれ
- 1963 日展作家 多田院大画伯に師事
- 2008 脊椎損傷で車いす生活に
- 2013 第224回ル・サロン（仏・パリ）絵画部門銅賞を受賞
- 2014 第225回ル・サロン（仏・パリ）世界公募展入選
- 2015 第226回ル・サロン（仏・パリ）入選
- 2016 第227回ル・サロン（仏・パリ）入選



さらに詳しいプロフィールは HP <http://daiun-doujin.com> をクリック

○内容

世界的な水墨画家である陽光山徳賞寺住職（大雲道人[栗谷正光氏]）に、行けば会えて茶菓をいただきながら話ができる。（茶菓で接待を受け、禅とその水墨画の理解を深める）

要予約 TEL : 0770-32-1345 、 E-mail : info@daiun-doujin.com

拝観料 500円（茶菓代含む）

精進料理 5,000円

坐禅体験・写経体験 各300円